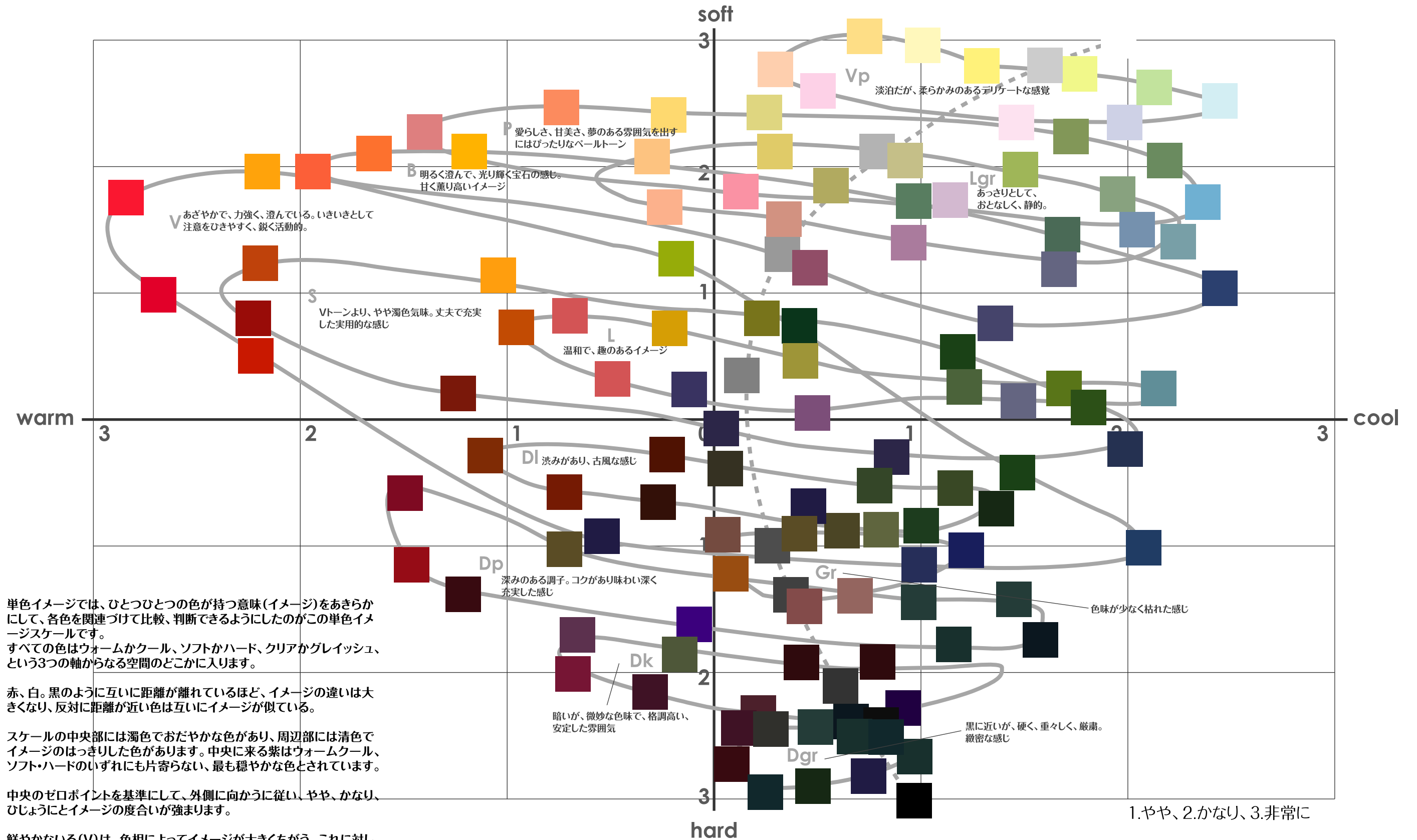


単色イメージスケール

色の世界は、赤、オレンジ、青のように彩りのある「有彩色」と白、灰、黒のように彩りの無い「無彩色」とに分けられます。赤→オレンジ→黄→黄緑→緑→青緑→青→青紫→紫→赤紫→赤とよく似た色合いの順に並べると色相(Hue)の輪ができます。これをヒューサークルと言います。各色相に濃い、薄いがありこれを「彩度」と言い、さらに明るい、暗いを「明度」と言い、色は色相「彩度」明度」3つの要素で指定します。



単色イメージでは、ひとつひとつの色が持つ意味(イメージ)をあきらかにして、各色を関連づけて比較、判断できるようにしたのがこの単色イメージスケールです。
すべての色はウォームかクール、ソフトかハード、クリアかグレイッシュ、という3つの軸からなる空間のどこかに入ります。

赤、白、黒のように互いに距離が離れているほど、イメージの違いは大きくなり、反対に距離が近い色は互いにイメージが似ている。

スケールの中央部には濁色でおだやかな色があり、周辺部には清色でイメージのはっきりした色があります。中央に来る紫はウォームクール、ソフト・ハードのいずれにも片寄らない、最も穏やかな色とされています。

中央のゼロポイントを基準にして、外側に向かうに従い、やや、かなり、ひじょうにとイメージの度合いが強まります。

鮮やかないろ(V)は、色相によってイメージが大きくちがう。これに対してダークトーンなど、彩度の低い色は、色相によるイメージの違いが出にくく、合わせるのもむずかしい組み合わせです。